

2017年 1月27日

発行：島根民医連 医系学生サポートセンター

Tel:0853-21-3360 Email:igakutai@gmail.com

オスケー

OSCE 対策実習

1/21(土)@松江生協病院

1月28日(土)に島根大学で実施される「OSCE(客観的臨床能力試験)」に向けて、松江生協病院で対策実習を開催し、島根大の4年生16名と指導役として5年生1名が参加をしました。実習では8名ずつのグループに分かれ、「ガウンテクニック」と「医療面接」の演習を交互に行いました。

「ガウンテクニック」では医師2名に担当していただき、ガウンと手袋の装着を繰り返し練習しました。実際の物品を使って演習できる機会が少ないため、この機会にと今までの手技を確認し、苦手な部分を重点的に練習する学生の姿がありました。指導に当たった医師からは、「不潔と清潔の概念が理解できていれば、どのようなやり方をすればよいかは分かってくる」「失敗したかなと不安になったら、そのままやり続けるのではなく、もう一度初めからやらせてもらう方が良い。不潔清潔をきちんと理解していると思ってもらう方が大切。」とのアドバイスや、個人個人の練習に対して細かく声をかけての指導をしていただきました。

学生からは、「本番と同じ形式で練習させてもらえ本当に良かった」「一人一人を丁寧に見ていただけたことが良かった」との感想がありました。

「医療面接」では、4名ずつ2班に分かれて演習を行いました。学生の行う医療面接場面を、研修医、学生、模擬患者がフィードバックを行い、授業では気づけないような点を学べる機会となりました。フィードバックの他に模擬患者の症状と訴えから疑う疾患についても意見交換をしました。「その疾患を疑うなら聞いておかなければならないことと、実施すべき検査は何だろう？」という実際の診療場面に近いかたちでのディスカッションをしたことで、ただ試験対策を行うだけではなく、これから進む勉強の中で役立つ内容になりました。学生からは「臨床につながるかたちで学べた」「これだけフィードバックが返ってくるのは学校ではなかなかできない」と、満足度の高い感想が聞かれました。OSCE本番も間近に迫ってきました。実習に来た学生たちが良い結果を出せるように願っています。

実習の後は昼食交流を行いました。

その中で、尾上先生から松江生協病院での研修についてお話をしていただきました。実際に研修をされている先生から伝えていただくことで、より具体的に研修についてイメージしてもらえたのではないかと思います。その次には、鈴木先生から救外での初期対応レクチャーを含めて、民医連が目指している医療についてお話をしていただきました。最後に、島根民医連3病院の研修アピールも行い、アンケートでは約半数の学生から見学・実習を希望するという回答をいただきました。

このような企画を通して、今後も実習へつながる学生を増やしていければと思います。

ガウンテクニック



医療面接



救急外来レクチャー



学生の感想

- ⇒ 清潔の概念を教えてもらえたので暗記でなく考えて動けるようになった。
- ⇒ 医療面接でたくさんフィードバックをいただけた。医師の方のご意見をいただけてとても有意義でした。
- ⇒ 医療面接のポイントを実臨床での経験をもとに話していただいて具体的に何を聞くべきかイメージできた。
- ⇒ ガウンテクニックで失敗しない方法、失敗した時の対処法が非常に役立つと感じた。